

高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業 奈良県教育委員会

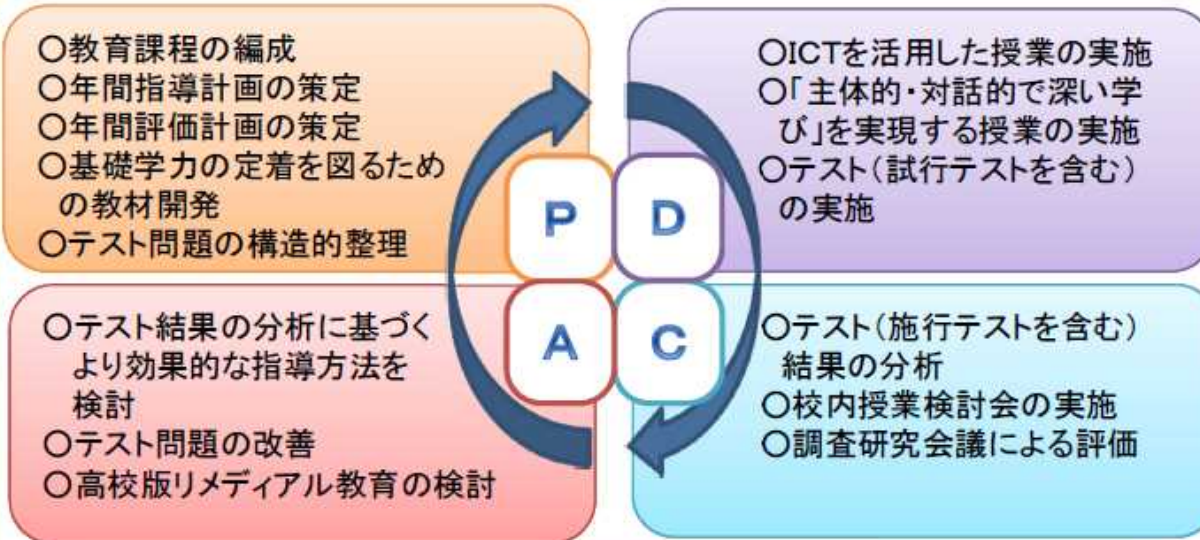
課題: 今後、高校生の学ぶ意欲を高め、確かな学力を育てることがますます重要となる。また、高大接続改革への対応が課題。
 目的: 高校生の基礎学力の着実な定着に取り組むための指導体制の在り方を検討するとともに、生徒の学習意欲を喚起することができる教材開発についての調査研究を行う。また、「高等学校基礎学力テスト(仮称)」の導入に向けた評価問題の開発を行うとともに、学習指導における「PDCAサイクル」の確立に向けた実践的研究を行う。

研究実践校(県立榛生昇陽高等学校)での研究開発

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための指導方法や教材の開発等を行うと同時に、生徒の基礎学力の定着度や学習状況等を的確に把握し、よりよいテスト手法を研究し、学校におけるPDCAサイクルの確立を図る。

高等学校 教育改革

- ・学習指導要領の抜本的な見直し
- ・学習・指導方法の改善
- ・多面的な評価の推進



調査研究事業検討委員会の開催

学校教育課指導主事・有識者(大学教授)等で構成

法の確立
 ・基礎学力の確実な定着を図る指導
 ・「主体的・対話的で深い学び」のための指導法の確立